

「計画行政と住民ニーズ把握に関する全国自治体調査」B票
単純集計表

問1 総合計画について、基本構想、基本計画、実施計画のそれぞれについて策定を行いましたか。

a. 基本構想

	実数	(%)
1. 策定した	1268	91.0
2. 策定していない	78	5.6
3. 策定中	47	3.4
9. NA	7	
合計	1400	100.0

b. 基本計画

	実数	(%)
1. 策定した	1243	89.4
2. 策定していない	83	6.0
3. 策定中	64	4.6
9. NA	10	
合計	1400	100.0

c. 実施計画

	実数	(%)
1. 策定した	1045	76.4
2. 策定していない	90	6.6
3. 策定中	232	17.0
9. NA	33	
合計	1400	100.0

問2 総合計画策定の理由として、以下の項目はどの程度あてはまりますか。a～fそれぞれの作業について、次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 事業を効率的・合理的に運営するため

	実数	(%)
1. あてはまる	900	68.4
2. どちらかといえばあてはまる	354	26.9
3. どちらかといえばあてはまらない	52	4.0
4. あてはまらない	10	0.8
9. NA	15	
非該当	69	
合計	1400	100.0

b. 施設等の整備・統合を進めるため

	実数	(%)
1. あてはまる	435	33.2
2. どちらかといえばあてはまる	523	39.9
3. どちらかといえばあてはまらない	286	21.8
4. あてはまらない	67	5.1
9. NA	20	
非該当	69	
合計	1400	100.0

c. 住民サービスの向上をはかるため

	実数	(%)
1. あてはまる	875	66.6
2. どちらかといえばあてはまる	401	30.5
3. どちらかといえばあてはまらない	34	2.6
4. あてはまらない	4	0.3
9. NA	17	
非該当	69	
合計	1400	100.0

d. 長期的な展望の下で行政を推進するため

	実数	(%)
1. あてはまる	1219	92.5
2. どちらかといえばあてはまる	95	7.2
3. どちらかといえばあてはまらない	3	0.2
4. あてはまらない	1	0.1
9. NA	13	
非該当	69	
合計	1400	100.0

e. 住民に施策をよりよく説明するため

	実数	(%)
1. あてはまる	799	60.9
2. どちらかといえばあてはまる	470	35.8
3. どちらかといえばあてはまらない	37	2.8
4. あてはまらない	6	0.5
9. NA	19	
非該当	69	
合計	1400	100.0

f. 基本構想の策定が義務付けられているため

	実数	(%)
1. あてはまる	1060	80.7
2. どちらかといえばあてはまる	190	14.5
3. どちらかといえばあてはまらない	39	2.8
4. あてはまらない	24	0.5
9. NA	18	
非該当	69	
合計	1400	100.0

問3 あなたの自治体の総合計画が提示する将来像（キャッチフレーズ）をご記入ください。

1. 使用している自治体が多い語句 上位10語

順位	語句	使用している自治体数	割合(%)
1	人・ひと・人間	369	28.9
2	自然・大自然	295	23.1
3	輝く	238	18.7
4	豊か	208	16.3
5	緑	177	13.9
6	文化	164	12.9
7	活力	118	9.2
8	心	106	8.3
9	ふれあい	101	7.9
10	創造	96	7.5

2. 将来像全体の大まかな分類

	分類された自治体数	割合(%)
自然:抽象的	247	19.5
自然:特定名	36	2.8
社会:安息	246	19.5
社会:活動	228	18.0
社会:文化・希望・教育	233	18.4
固有の特徴:歴史・神話	62	4.9
固有の特徴:事実・自然現象	24	1.9
固有の特徴:特産品・名物	34	2.7
複合:上記2つ	58	4.6
複合:上記3つ以上・分類不能	83	6.6
個性を強調	13	1.0
合計	1264	100.0

問5

(1) 総合計画策定のために、計画立案等を外部の業者に委託していますか。

	実数	(%)
1. 委託した部分がある	850	64.2
2. まったく委託していない	475	35.8
9. NA	6	
非該当	69	
合計	1400	100.0

(3) 以下の作業では、委託先業者はどの程度関与されましたか。a～fそれぞれの作業について、次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 指標による政策施策別分析

	実数	(%)
1. 業者が行った	58	7.0
2. 業者はかなり関与した	208	25.0
3. 業者はやや関与した	219	26.4
4. 業者は関与していない	142	17.1
5. 事業自体を行っていない	204	24.5
9. NA	24	
非該当	545	
合計	1400	100.0

b. 財政分析と財政シミュレーション

	実数	(%)
1. 業者が行った	17	2.1
2. 業者はかなり関与した	90	10.9
3. 業者はやや関与した	134	16.2
4. 業者は関与していない	362	43.8
5. 事業自体を行っていない	224	27.1
9. NA	28	
非該当	545	
合計	1400	100.0

c. 住民意識調査の実施

	実数	(%)
1. 業者が行った	121	14.5
2. 業者はかなり関与した	414	49.5
3. 業者はやや関与した	177	21.2
4. 業者は関与していない	73	8.7
5. 事業自体を行っていない	51	6.1
9. NA	19	
非該当	545	
合計	1400	100.0

d. 政策体系の構築

	実数	(%)
1. 業者が行った	32	3.9
2. 業者はかなり関与した	263	31.8
3. 業者はやや関与した	354	42.8
4. 業者は関与していない	164	19.8
5. 事業自体を行っていない	14	1.7
9. NA	28	
非該当	545	
合計	1400	100.0

e. まちづくり指標の設定

	実数	(%)
1. 業者が行った	19	2.3
2. 業者はかなり関与した	167	20.2
3. 業者はやや関与した	307	37.2
4. 業者は関与していない	184	22.3
5. 事業自体を行っていない	148	17.9
9. NA	30	
非該当	545	
合計	1400	100.0

f. シンポジウムの開催

	実数	(%)
1. 業者が行った	8	1.0
2. 業者はかなり関与した	99	12.0
3. 業者はやや関与した	121	14.7
4. 業者は関与していない	137	16.6
5. 事業自体を行っていない	460	55.8
9. NA	30	
非該当	545	
合計	1400	100.0

g. 計画書の原案作成

	実数	(%)
1. 業者が行った	90	10.7
2. 業者はかなり関与した	327	39.0
3. 業者はやや関与した	326	38.9
4. 業者は関与していない	89	10.6
5. 事業自体を行っていない	6	0.7
9. NA	17	
非該当	545	
合計	1400	100.0

h. 計画書の執筆

	実数	(%)
1. 業者が行った	87	10.4
2. 業者はかなり関与した	304	36.4
3. 業者はやや関与した	319	38.2
4. 業者は関与していない	119	14.2
5. 事業自体を行っていない	7	0.8
9. NA	19	
非該当	545	
合計	1400	100.0

問6 総合計画の策定過程で行われた住民参加は、計画に対してどの程度の影響力がありましたか。a～jそれぞれについて、あてはまるものをお選びください。

a. 住民に対するアンケート調査

	実数	(%)
1. 強い	422	32.2
2. やや強い	564	43.1
3. やや弱い	105	8.0
4. 弱い	23	1.8
5. 行われなかった	196	15.0
9. NA	19	
非該当	71	
合計	1400	100.0

b. 住民への説明会や公聴会

	実数	(%)
1. 強い	227	17.4
2. やや強い	413	32.1
3. やや弱い	153	11.8
4. 弱い	44	3.4
5. 行われなかった	460	35.3
9. NA	27	
非該当	71	
合計	1400	100.0

c. 住民モニター制度

	実数	(%)
1. 強い	26	2.0
2. やや強い	89	6.9
3. やや弱い	93	7.2
4. 弱い	46	3.5
5. 行われなかった	1042	80.4
9. NA	33	
非該当	71	
合計	1400	100.0

d. 広報やインターネットを通じて計画への意見募集

	実数	(%)
1. 強い	93	7.2
2. やや強い	260	20.1
3. やや弱い	290	22.4
4. 弱い	160	12.3
5. 行われなかった	493	38.0
9. NA	33	
非該当	71	
合計	1400	100.0

e. 審議会

	実数	(%)
1. 強い	857	65.5
2. やや強い	335	25.5
3. やや弱い	58	4.4
4. 弱い	9	0.7
5. 行われなかった	50	3.8
9. NA	20	
非該当	71	
合計	1400	100.0

f. 職員研究会

	実数	(%)
1. 強い	332	25.7
2. やや強い	461	35.6
3. やや弱い	158	12.2
4. 弱い	56	4.3
5. 行われなかった	287	22.2
9. NA	35	
非該当	71	
合計	1400	100.0

g. 地区住民会議

	実数	(%)
1. 強い	270	20.9
2. やや強い	297	23.0
3. やや弱い	129	10.0
4. 弱い	42	3.2
5. 行われなかった	556	43.0
9. NA	35	
非該当	71	
合計	1400	100.0

h. 日ごろの苦情や行政相談内容の集計

	実数	(%)
1. 強い	39	3.0
2. やや強い	258	20.0
3. やや弱い	384	29.7
4. 弱い	260	20.1
5. 行われなかった	351	27.2
9. NA	37	
非該当	71	
合計	1400	100.0

i. パブリックコメント制度

	実数	(%)
1. 強い	102	7.9
2. やや強い	183	14.2
3. やや弱い	172	13.3
4. 弱い	106	8.2
5. 行われなかった	729	56.4
9. NA	37	
非該当	71	
合計	1400	100.0

j. 住民や当事者団体等による自主的な計画検討委員会

	実数	(%)
1. 強い	97	7.5
2. やや強い	133	10.3
3. やや弱い	78	6.0
4. 弱い	69	5.3
5. 行われなかった	916	70.8
9. NA	36	
非該当	71	
合計	1400	100.0

問7

(1) 総合計画を担当する部署についてうかがいます。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	あてはまる	あてはまる (%)	NA	非該当
1. 政策や計画などの企画や立案を行う	1211	91.3	116	73
2. 実際の業務を行う部署間の調整を行う	1083	81.6	244	73
3. 総合的、あるいは特定の事業を行う	713	53.7	615	73
4. 総合計画実行に必要な あらゆる業務を行う	402	30.3	924	73
5. 総合計画に関わる財政の管理を行う	353	26.6	975	73
6. 総合計画の広報を行う	861	64.9	466	73
7. 首長の意向を強く反映させられるよう な体制になっている	470	35.4	858	73
8. その他	30	2.3	1296	73

(2) 担当部署が(1)の回答のように行っていることは、実際に事業を実施するうえでどの程度役立っていますか。a～eのそれぞれについて、次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 計画を効率的に実行する

	実数	(%)
1. 役立っている	478	36.3
2. どちらかといえば役立っている	707	53.7
3. どちらかといえば役立っていない	119	9.0
4. 役立っていない	12	0.9
9. NA	10	
非該当	74	
合計	1400	100.0

b. 部署間の情報共有が容易になる

	実数	(%)
1. 役立っている	328	24.9
2. どちらかといえば役立っている	774	58.9
3. どちらかといえば役立っていない	186	14.1
4. 役立っていない	27	2.1
9. NA	11	
非該当	74	
合計	1400	100.0

c. 事業の実効性・有効性を高める

	実数	(%)
1. 役立っている	347	26.4
2. どちらかといえば役立っている	772	58.7
3. どちらかといえば役立っていない	185	14.1
4. 役立っていない	12	0.9
9. NA	10	
非該当	74	
合計	1400	100.0

d. 施策の取捨選択や優先順位づけの参考となった

	実数	(%)
1. 役立っている	508	38.5
2. どちらかといえば役立っている	654	49.6
3. どちらかといえば役立っていない	133	10.1
4. 役立っていない	23	1.7
9. NA	8	
非該当	74	
合計	1400	100.0

e. 行政の現状を住民に啓発することができた

	実数	(%)
1. 役立っている	169	12.9
2. どちらかといえば役立っている	679	51.7
3. どちらかといえば役立っていない	393	29.9
4. 役立っていない	72	5.5
9. NA	13	
非該当	74	
合計	1400	100.0

問8 業務をさらに効率よく行うために、総合計画を担当する部署はこれからどのようなことが課題になると思いますか。a～fのそれぞれに、次の1～4からあてはまるものをお選びください。

a. 計画の企画・立案能力を強化する

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	680	51.6
2. 重要な課題である	597	45.3
3. あまり重要な課題ではない	38	2.9
4. 課題ではない	3	0.2
9. NA	9	
非該当	73	
合計	1400	100.0

b. 計画と財政の連携をとる

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	884	66.9
2. 重要な課題である	413	31.3
3. あまり重要な課題ではない	22	1.7
4. 課題ではない	2	0.2
9. NA	6	
非該当	73	
合計	1400	100.0

c. 計画と評価の連携をとる

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	774	58.7
2. 重要な課題である	515	39.1
3. あまり重要な課題ではない	29	2.2
4. 課題ではない	0	0.0
9. NA	9	
非該当	73	
合計	1400	100.0

d. 実務を行う部署間の調整能力を強化する

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	436	33.0
2. 重要な課題である	785	59.5
3. あまり重要な課題ではない	96	7.3
4. 課題ではない	3	0.2
9. NA	7	
非該当	73	
合計	1400	100.0

e. 実務を行う部署への助言・情報提供を行う

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	274	20.8
2. 重要な課題である	824	62.5
3. あまり重要な課題ではない	206	15.6
4. 課題ではない	15	1.1
9. NA	8	
非該当	73	
合計	1400	100.0

f. 進行管理によって計画の実効性・有効性を確保し、結果を評価する

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	722	54.7
2. 重要な課題である	559	42.4
3. あまり重要な課題ではない	36	2.7
4. 課題ではない	2	0.2
9. NA	8	
非該当	73	
合計	1400	100.0

問9

- (1) 総合計画について何らかの評価を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	実数	(%)
1. 役所内の職員	507	38.5
2. 大学や研究機関に所属する専門家	476	36.1
3. その他	334	25.4
9. NA	11	
非該当	72	
合計	1400	100

(2) では、どのようなことに対して評価を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	実数	(%)
1. 基本構想のみ	1	0.2
2. 基本計画のみ	71	14.0
3. 実施計画のみ	187	36.9
4. 基本構想と基本計画	18	3.6
5. 基本計画と実施計画	160	31.6
6. 総合計画全体	70	13.8
9. NA	882	
非該当	11	
合計	1400	100.0

(3) 現在の評価制度はa～hのそれぞれにどの程度役立っていますか。次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 事業の目的達成度の向上

	実数	(%)
1. 役立っている	178	35.7
2. どちらかといえば役立っている	278	55.7
3. どちらかといえば役立っていない	38	7.6
4. 役立っていない	5	1.0
9. NA	19	
非該当	882	
合計	1400	100.0

b. 総合計画における事業の効率化

	実数	(%)
1. 役立っている	119	24.0
2. どちらかといえば役立っている	295	59.5
3. どちらかといえば役立っていない	75	15.1
4. 役立っていない	7	1.4
9. NA	22	
非該当	882	
合計	1400	100.0

c. 総合計画における予算編成への成果の反映

	実数	(%)
1. 役立っている	129	26.0
2. どちらかといえば役立っている	263	52.9
3. どちらかといえば役立っていない	90	18.1
4. 役立っていない	15	3.0
9. NA	21	
非該当	882	
合計	1400	100.0

d. 住民の声を総合計画へ反映させること

	実数	(%)
1. 役立っている	87	17.5
2. どちらかといえば役立っている	222	44.6
3. どちらかといえば役立っていない	155	31.1
4. 役立っていない	34	6.8
9. NA	20	
非該当	882	
合計	1400	100.0

e. 総合計画の外部に対する透明性の確保

	実数	(%)
1. 役立っている	118	23.7
2. どちらかといえば役立っている	253	50.8
3. どちらかといえば役立っていない	105	21.1
4. 役立っていない	22	4.4
9. NA	20	
非該当	882	
合計	1400	100.0

f. 行政サービスの向上

	実数	(%)
1. 役立っている	118	23.7
2. どちらかといえば役立っている	290	58.2
3. どちらかといえば役立っていない	86	17.3
4. 役立っていない	4	.8
9. NA	20	
非該当	882	
合計	1400	100.0

g. 職員の研修・意識改革

	実数	(%)
1. 役立っている	97	19.4
2. どちらかといえば役立っている	278	55.7
3. どちらかといえば役立っていない	109	21.8
4. 役立っていない	15	3.0
9. NA	19	
非該当	882	
合計	1400	100.0

h. 総合計画の全体的な成果の向上

	実数	(%)
1. 役立っている	135	27.1
2. どちらかといえば役立っている	314	62.9
3. どちらかといえば役立っていない	45	9.0
4. 役立っていない	5	1.0
9. NA	19	
非該当	882	
合計	1400	100.0

問10 あなたの自治体では、総合計画についてどのようにお考えですか。a～iのそれぞれに、次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 個別に計画を策定するよりも整合的な計画が策定できる

	実数	(%)
1. そう思う	734	56.0
2. どちらかといえばそう思う	515	39.3
3. どちらかといえばそう思わない	57	4.3
4. そう思わない	5	0.4
9. NA	17	
非該当	72	
合計	1400	100.0

b. 計画が形骸化している

	実数	(%)
1. そう思う	130	10.0
2. どちらかといえばそう思う	484	37.1
3. どちらかといえばそう思わない	462	35.5
4. そう思わない	227	17.4
9. NA	25	
非該当	72	
合計	1400	100.0

c. 各事業の目標が明確になる

	実数	(%)
1. そう思う	502	38.3
2. どちらかといえばそう思う	675	51.6
3. どちらかといえばそう思わない	122	9.3
4. そう思わない	10	0.8
9. NA	19	
非該当	72	
合計	1400	100.0

d. 全体的な目標のために、各事業の柔軟な運営が出来ない

	実数	(%)
1. そう思う	26	2.0
2. どちらかといえばそう思う	145	11.1
3. どちらかといえばそう思わない	792	60.8
4. そう思わない	340	26.1
9. NA	25	
非該当	72	
合計	1400	100.0

e. 各事業の運営が円滑に行える

	実数	(%)
1. そう思う	149	11.4
2. どちらかといえばそう思う	878	67.4
3. どちらかといえばそう思わない	249	19.1
4. そう思わない	27	2.1
9. NA	25	
非該当	72	
合計	1400	100.0

f. 部署間での連携など、余計な労力がかかる

	実数	(%)
1. そう思う	24	1.8
2. どちらかといえばそう思う	244	18.7
3. どちらかといえばそう思わない	765	58.5
4. そう思わない	275	21.0
9. NA	20	
非該当	72	
合計	1400	100.0

g. 事業全体を通じた評価を行いやすい

	実数	(%)
1. そう思う	247	18.9
2. どちらかといえばそう思う	789	60.4
3. どちらかといえばそう思わない	238	18.2
4. そう思わない	32	2.5
9. NA	22	
非該当	72	
合計	1400	100.0

h. 役所の外部に対して、事業の内容をわかりやすく位置づけることができる

	実数	(%)
1. そう思う	486	37.2
2. どちらかといえばそう思う	704	53.9
3. どちらかといえばそう思わない	109	8.3
4. そう思わない	7	0.5
9. NA	22	
非該当	72	
合計	1400	100.0

i. 成果の向上にとらわれすぎている

	実数	(%)
1. そう思う	19	1.5
2. どちらかといえばそう思う	176	13.5
3. どちらかといえばそう思わない	825	63.5
4. そう思わない	280	21.5
9. NA	28	
非該当	72	
合計	1400	100.0

問 1 1 (1) あなたの自治体では地域防災計画を策定していますか。

	実数	(%)
1. 策定している	1285	92.3
2. 策定中である	98	7.0
3. 策定していない	9	0.6
9. NA	8	
合計	1400	100.0

問 1 2 (1) 防災会議に提出する地域防災計画の原案は、どのような策定方法がとられていますか。

	実数	(%)
1. 自治体職員のみで策定している	807	58.7
2. 自治体職員が中心となり、業者と協力して策定している	429	31.2
3. ほとんど業者に委託している	108	7.9
4. その他	30	2.2
9. NA	9	
非該当	17	
合計	1400	100.0

問 1 3 地域防災計画における住民参加についてお聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 計画策定過程において、情報公開を行っている

	実数	(%)
あてはまる	254	18.4
あてはまらない	1130	81.6
NA	7	
非該当	9	
合計	1400	100.0

2. 計画策定過程において、一般住民の意見を取り入れている

	実数	(%)
あてはまる	291	21.0
あてはまらない	1093	79.0
NA	7	
非該当	9	
合計	1400	100.0

3. 計画策定過程において、民間団体の意見を取り入れている

	実数	(%)
あてはまる	410	29.6
あてはまらない	974	70.4
NA	7	
非該当	9	
合計	1400	100.0

4. 計画を策定する機関（防災会議など）に、民間団体の代表を参加させている

	実数	(%)
あてはまる	852	61.6
あてはまらない	532	38.4
NA	7	
非該当	9	
合計	1400	100.0

5. 災害時における民間団体の役割分担を計画に示してある

	実数	(%)
あてはまる	775	56.0
あてはまらない	609	44.0
NA	7	
非該当	9	
合計	1400	100.0

問14(1) 平常時の防災活動における住民参加についてお聞きします。次のa～gのそれぞれに、次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 自主防災組織との情報共有・連携体制の形成

	実数	(%)
1. よく行っている	195	14.0
2. ある程度行っている	703	50.6
3. あまり行っていない	363	26.2
4. まったく行っていない	127	9.1
9. NA	12	
合計	1400	100.0

b. 災害ボランティア団体との情報共有・連携体制の形成

	実数	(%)
1. よく行っている	50	3.6
2. ある程度行っている	293	21.3
3. あまり行っていない	610	44.3
4. まったく行っていない	424	30.8
9. NA	23	
合計	1400	100.0

c. 町内会との情報共有・連携体制の形成

	実数	(%)
1. よく行っている	183	13.2
2. ある程度行っている	738	53.3
3. あまり行っていない	399	28.8
4. まったく行っていない	65	4.7
9. NA	15	
合計	1400	100.0

d. 自主防災組織への資金援助

	実数	(%)
1. よく行っている	213	15.4
2. ある程度行っている	429	31.1
3. あまり行っていない	203	14.7
4. まったく行っていない	527	38.2
5. 資器材のみ	8	0.6
9. NA	20	
合計	1400	100.0

e. 災害ボランティア団体への資金援助

	実数	(%)
1. よく行っている	8	0.6
2. ある程度行っている	48	3.5
3. あまり行っていない	206	15.0
4. まったく行っていない	1107	80.8
5. 資器材のみ	1	0.1
9. NA	30	
合計	1400	100.0

f. 自主防災組織と行政合同の防災訓練

	実数	(%)
1. よく行っている	285	20.6
2. ある程度行っている	614	44.3
3. あまり行っていない	227	16.4
4. まったく行っていない	260	18.8
9. NA	14	
合計	1400	100.0

g. 災害ボランティア団体と行政合同の防災訓練

	実数	(%)
1. よく行っている	62	4.5
2. ある程度行っている	305	22.1
3. あまり行っていない	295	21.4
4. まったく行っていない	715	51.9
9. NA	23	
合計	1400	100.0

(2) あなたの自治体における、行政と住民（個人および民間団体）合同の防災訓練は、どのような形式のものが多くですか。

	実数	(%)
1. 行政が主導し、住民がそれにそって行動する	677	49.3
2. 行政が主導するが、住民が主体的に参加する	360	26.2
3. 民間団体が主導し、行政がそれを支援する	134	9.8
4. 行政と住民合同の防災訓練を行っていない	169	12.3
5. その他	32	2.3
9. NA	26	
合計	1400	100.0

問15 あなたの自治体では、防災について、次の点は整備されていると思いますか。a～iの各項目について、1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. リスク把握と被害想定

	実数	(%)
1. よく整備されている	66	4.8
2. ある程度整備されている	740	53.5
3. あまり整備されていない	501	36.3
4. 整備されていない	75	5.4
9. NA	18	
合計	1400	100.0

b. 防災設備の設置および管理

	実数	(%)
1. よく整備されている	81	5.8
2. ある程度整備されている	796	57.4
3. あまり整備されていない	476	34.3
4. 整備されていない	33	2.4
9. NA	14	
合計	1400	100.0

c. 資機材・物資の備蓄および管理

	実数	(%)
1. よく整備されている	76	5.5
2. ある程度整備されている	760	54.8
3. あまり整備されていない	499	36.0
4. 整備されていない	51	3.7
9. NA	14	
合計	1400	100.0

d. 平常時の、防災関係機関との情報連絡体制

	実数	(%)
1. よく整備されている	298	21.5
2. ある程度整備されている	950	68.4
3. あまり整備されていない	136	9.8
4. 整備されていない	5	4.0
9. NA	11	
合計	1400	100.0

e. 緊急時の、防災関係機関との情報連絡体制

	実数	(%)
1. よく整備されている	314	22.6
2. ある程度整備されている	971	70.0
3. あまり整備されていない	98	7.1
4. 整備されていない	4	0.3
9. NA	13	
合計	1400	100.0

f. 平常時の、住民との情報連絡体制

	実数	(%)
1. よく整備されている	147	10.6
2. ある程度整備されている	862	62.1
3. あまり整備されていない	356	25.6
4. 整備されていない	23	1.7
9. NA	12	
合計	1400	100.0

g. 緊急時の、住民との情報連絡体制

	実数	(%)
1. よく整備されている	142	10.2
2. ある程度整備されている	833	60.1
3. あまり整備されていない	384	27.7
4. 整備されていない	28	2.0
9. NA	13	
合計	1400	100.0

h. 災害時の応急活動体制

	実数	(%)
1. よく整備されている	130	9.4
2. ある程度整備されている	939	67.7
3. あまり整備されていない	309	22.3
4. 整備されていない	8	0.6
9. NA	14	
合計	1400	100.0

i. 復興計画

	実数	(%)
1. よく整備されている	45	3.3
2. ある程度整備されている	615	44.6
3. あまり整備されていない	568	41.2
4. 整備されていない	150	10.9
9. NA	22	
合計	1400	100.0

問16 (1) 災害時要援護者避難支援のために、要援護者リストを作成していますか。

	実数	(%)
1. 作成している	247	17.8
2. 一部で作成している	173	12.4
3. 作成中である	206	14.8
4. 作成していないが、今後の作成予定はある	692	49.8
5. 作成する予定はない	72	5.2
9. NA	10	
合計	1400	100.0

(2) 現在、リストを作成していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 住民からのニーズが乏しいため

	実数	(%)
1. あてはまる	74	9.7
2. あてはまらない	690	90.3
9. NA	10	
非該当	626	
合計	1400	100.0

2. 個人情報の目的外利用や第三者への情報提供の問題がクリアできないため

	実数	(%)
1. あてはまる	464	60.7
2. あてはまらない	300	39.3
9. NA	10	
非該当	626	
合計	1400	100.0

3. 地域コミュニティが要援護者の情報を把握しているので必要性を感じないため

	実数	(%)
1. あてはまる	121	15.8
2. あてはまらない	643	84.2
9. NA	10	
非該当	626	
合計	1400	100.0

4. 費用を確保できないため

	実数	(%)
1. あてはまる	55	7.2
2. あてはまらない	709	92.8
9. NA	10	
非該当	626	
合計	1400	100.0

5. その他

	実数	(%)
1. あてはまる	181	23.7
2. あてはまらない	583	76.3
9. NA	10	
非該当	626	
合計	1400	100.0

問17(1) リストを作成するさいにどのように要援護者の情報を収集していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 福祉関係部局のもつ情報を提供してもらう

	実数	(%)
1. あてはまる	380	60.8
2. あてはまらない	245	39.2
9. NA	11	
非該当	764	
合計	1400	100.0

2. 要援護者登録制度を広報した後、希望者を募って情報を収集する

	実数	(%)
1. あてはまる	160	25.6
2. あてはまらない	465	74.4
9. NA	11	
非該当	764	
合計	1400	100.0

3. 防災関係部局、福祉関係部局などが本人に直接的に同意を求め情報を得る

	実数	(%)
1. あてはまる	212	33.9
2. あてはまらない	413	66.1
9. NA	11	
非該当	764	
合計	1400	100.0

4. その他

	実数	(%)
1. あてはまる	96	15.4
2. あてはまらない	529	84.6
9. NA	11	
非該当	764	
合計	1400	100.0

(2) 避難支援対象者のうち、リストへの登録率はどのくらいですか。

	実数	(%)
1. 全員登録	56	9.8
2. 90%以上	89	15.5
3. 70～90%未満	57	9.9
4. 50～70%未満	62	10.8
5. 30～50%未満	42	7.3
6. 10～30%未満	33	5.8
7. 10%未満	27	4.7
8. 把握していない	207	36.1
NA	63	
非該当	764	
合計	1400	100.0

(3) 要援護者を把握し、リストを作成するさいに難しかったこと、運用していくさいに課題となっていることはありますか。a～hのそれぞれについて、次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 登録率が低い

	実数	(%)
1. あてはまる	73	14.1
2. どちらかといえばあてはまる	154	29.8
3. どちらかといえばあてはまらない	144	27.9
4. あてはまらない	146	28.2
9. NA	119	
非該当	764	
合計	1400	100.0

b. 住民の同意・理解を得にくい

	実数	(%)
1. あてはまる	39	7.3
2. どちらかといえばあてはまる	176	33.0
3. どちらかといえばあてはまらない	193	36.2
4. あてはまらない	125	23.5
9. NA	103	
非該当	764	
合計	1400	100.0

c. リストの作成について全ての住民に知らせることが困難である

	実数	(%)
1. あてはまる	113	21.2
2. どちらかといえばあてはまる	187	35.2
3. どちらかといえばあてはまらない	149	28.0
4. あてはまらない	83	15.6
9. NA	104	
非該当	764	
合計	1400	100.0

d. 対象者が多く効率的かつ迅速に情報が収集できない

	実数	(%)
1. あてはまる	75	14.0
2. どちらかといえばあてはまる	187	39.4
3. どちらかといえばあてはまらない	179	33.4
4. あてはまらない	95	17.7
9. NA	100	
非該当	764	
合計	1400	100.0

e. 個人情報の取り扱いが困難である

	実数	(%)
1. あてはまる	196	36.3
2. どちらかといえばあてはまる	219	40.6
3. どちらかといえばあてはまらない	86	15.9
4. あてはまらない	39	7.2
9. NA	96	
非該当	764	
合計	1400	100.0

f. 実際の支援計画に結びついていない

	実数	(%)
1. あてはまる	74	14.0
2. どちらかといえばあてはまる	189	35.9
3. どちらかといえばあてはまらない	192	36.4
4. あてはまらない	72	13.7
9. NA	109	
非該当	764	
合計	1400	100.0

g. 他の関係部局との連携がとりにくい

	実数	(%)
1. あてはまる	48	9.0
2. どちらかといえばあてはまる	162	30.3
3. どちらかといえばあてはまらない	213	39.8
4. あてはまらない	112	20.9
9. NA	101	
非該当	764	
合計	1400	100.0

h. 役所外の関係者との連携がとりにくい

	実数	(%)
1. あてはまる	73	13.6
2. どちらかといえばあてはまる	189	35.3
3. どちらかといえばあてはまらない	205	38.2
4. あてはまらない	69	12.9
9. NA	100	
非該当	764	
合計	1400	100.0

問18 災害時の住民一般に対する避難支援についてお聞きします。

(1) 被災した住民の安否を把握するために、何か具体的な方策を採ることにはしていますか。

	実数	(%)
1. している	645	47.0
2. していない	726	53.0
9. NA	29	2.1
合計	1400	100.0

(2) あなたの自治体にいる、住民登録をしていない住民（学生や単身赴任者など）の安否を把握するために何か具体的な方策をとることにしていますか。

	実数	(%)
1. している	131	9.6
2. していない	1240	90.4
9. NA	29	
合計	1400	100.0

問19 あなたの自治体で起こりやすいと考えている自然災害はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください

1. 震災

	実数	(%)
1. 起こりやすい	902	64.4
2. 起こりにくい	498	35.6
合計	1400	100.0

2. 風水害

	実数	(%)
1. 起こりやすい	1249	89.2
2. 起こりにくい	151	10.8
合計	1400	100.0

3. 雪害

	実数	(%)
1. 起こりやすい	337	24.1
2. 起こりにくい	1063	75.9
合計	1400	100.0

4. 火山災害

	実数	(%)
1. 起こりやすい	86	6.1
2. 起こりにくい	1324	93.9
合計	1400	100.0

5. 津波

	実数	(%)
1. 起こりやすい	318	22.7
2. 起こりにくい	1082	77.3
合計	1400	100.0

6. 林野火災

	実数	(%)
1. 起こりやすい	508	36.3
2. 起こりにくい	892	63.7
合計	1400	100.0

7. その他

	実数	(%)
1. 起こりやすい	77	5.5
2. 起こりにくい	1323	94.5
合計	1400	100.0

問20(1) あなたの自治体は、平成11年4月から現在までに合併しましたか。

	実数	(%)
1. 合併した	478	34.1
2. 合併しなかった	922	65.9
合計	1400	100.0

(2) いつ合併なさいましたか。

	実数	(%)
平成11年	1	0.2
平成12年	0	0.0
平成13年	2	0.4
平成14年	3	0.6
平成15年	12	2.5
平成16年	72	15.1
平成17年	258	54.0
平成18年	123	25.7
平成19年	7	1.5
非該当	922	
合計	1400	100.0

問21(1) 合併前と合併後とを比べて、行政の状況はどのように変化しましたか。 a
～hのそれぞれに、次の1～5の中からあてはまるものをお選びください。

a. 行財政

	実数	(%)
1. 改善された	48	10.2
2. どちらかといえば改善された	161	34.2
3. 変わらない	141	29.9
4. どちらかといえば悪くなった	93	19.7
5. 悪くなった	28	5.9
9. NA	7	
非該当	922	
合計	1400	100.0

b. 住民サービス

	実数	(%)
1. 改善された	29	6.2
2. どちらかといえば改善された	137	29.2
3. 変わらない	232	49.5
4. どちらかといえば悪くなった	67	14.3
5. 悪くなった	4	0.9
9. NA	9	
非該当	922	
合計	1400	100.0

c. インフラ整備

	実数	(%)
1. 改善された	45	9.6
2. どちらかといえば改善された	173	36.7
3. 変わらない	223	47.3
4. どちらかといえば悪くなった	27	5.7
5. 悪くなった	3	0.6
9. NA	7	
非該当	922	
合計	1400	100.0

d. 少子高齢化対策

	実数	(%)
1. 改善された	24	5.1
2. どちらかといえば改善された	161	34.2
3. 変わらない	259	55.0
4. どちらかといえば悪くなった	25	5.3
5. 悪くなった	2	0.4
9. NA	7	
非該当	922	
合計	1400	100.0

e. 防災

	実数	(%)
1. 改善された	45	9.5
2. どちらかといえば改善された	186	39.4
3. 変わらない	225	47.7
4. どちらかといえば悪くなった	15	3.2
5. 悪くなった	1	0.2
9. NA	6	
非該当	922	
合計	1400	100.0

f. 職員の業務の効率性

	実数	(%)
1. 改善された	31	6.6
2. どちらかといえば改善された	199	42.1
3. 変わらない	160	33.8
4. どちらかといえば悪くなった	78	16.5
5. 悪くなった	5	1.1
9. NA	5	
非該当	922	
合計	1400	100.0

g. 職員の専門能力

	実数	(%)
1. 改善された	29	6.1
2. どちらかといえば改善された	181	38.3
3. 変わらない	252	53.4
4. どちらかといえば悪くなった	9	1.9
5. 悪くなった	1	0.2
9. NA	6	
非該当	922	
合計	1400	100.0

(2) あなたの自治体において、合併後に課題となったことは何ですか。a～gのそれぞれに、次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 財政状況の改善

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題となった	304	64.3
2. 重要な課題となった	130	27.5
3. あまり重要な課題にはなっていない	25	5.3
4. 課題にはなっていない	14	3.0
9. NA	5	
非該当	922	
合計	1400	100.0

b. 人件費の削減

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題となった	210	44.5
2. 重要な課題となった	221	46.8
3. あまり重要な課題にはなっていない	31	6.6
4. 課題にはなっていない	10	2.1
9. NA	6	
非該当	922	
合計	1400	100.0

c. 住民サービスの質の保持

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題となった	142	30.1
2. 重要な課題となった	266	56.5
3. あまり重要な課題にはなっていない	51	10.8
4. 課題にはなっていない	12	2.5
9. NA	7	
非該当	922	
合計	1400	100.0

d. 職員間の意思疎通

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題となった	64	13.5
2. 重要な課題となった	252	53.3
3. あまり重要な課題にはなっていない	134	28.3
4. 課題にはなっていない	23	4.9
9. NA	5	
非該当	922	
合計	1400	100.0

e. 住民の合意形成

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題となった	107	22.7
2. 重要な課題となった	268	56.8
3. あまり重要な課題にはなっていない	84	17.8
4. 課題にはなっていない	13	2.8
9. NA	6	
非該当	922	
合計	1400	100.0

f. 旧自治体の区域間での、予算配分の格差を是正すること

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題となった	38	8.1
2. 重要な課題となった	145	30.7
3. あまり重要な課題にはなっていない	235	49.8
4. 課題にはなっていない	54	11.4
9. NA	6	
非該当	922	
合計	1400	100.0

g. 自治体の規模に合った行政運営

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題となった	132	28.0
2. 重要な課題となった	225	47.7
3. あまり重要な課題にはなっていない	92	19.5
4. 課題にはなっていない	23	4.9
9. NA	6	
非該当	922	
合計	1400	100.0

(3) あなたの自治体では、合併後に、合併に対する住民の意識を知るために、下記のようなことを行いましたか。a～dのそれぞれについて、お答えください。

a. 住民へのアンケート調査

	実数	(%)
1. 行った	133	28.4
2. 行っていない	335	71.6
9. NA	10	
非該当	922	
合計	1400	100.0

b. 広報誌やインターネットを通じて、合併したことへの意見を募集

	実数	(%)
1. 行った	51	10.9
2. 行っていない	417	89.1
9. NA	10	
非該当	922	
合計	1400	100.0

c. 合併後に出てきた苦情や行政相談内容の集計

	実数	(%)
1. 行った	109	23.3
2. 行っていない	358	76.7
9. NA	11	
非該当	922	
合計	1400	100.0

d. 公聴会やタウンミーティング

	実数	(%)
1. 行った	250	53.3
2. 行っていない	219	46.7
9. NA	9	
非該当	922	
合計	1400	100.0

問22(1) あなたの自治体は、今後、合併または再合併が必要だとお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	実数	(%)
1. かなり必要となる	273	20.4
2. やや必要となる	414	30.9
3. あまり必要でない	395	29.5
4. 必要でない	235	17.5
5. すでに合併することが決まっている	15	1.1
6. 検討中	9	0.7
9. NA	59	
合計	1400	100.0

(2) 市町村合併が必要となる理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	あてはまる	あてはまる (%)	NA	非該当
1. 行財政基盤の強化のため	569	82.8	59	654
2. 行財政の効率化のため	520	75.7	59	654
3. 住民サービスの改善のため	252	36.7	59	654
4. 少子高齢化対策の推進のため	227	33.0	59	654
5. 広域的なまちづくりを行うため	417	60.7	59	654
6. 政令指定都市や中核都市になるため	44	6.4	59	654
7. 職員の専門能力を高めるため	171	24.9	59	654
8. その他	31	4.5	59	654

問23 行政の現状についてお聞きします。a～iのそれぞれについて、次の1～5の中からあてはまるものを1つお選びください。

a. 行財政

	実数	(%)
1. よい	38	2.8
2. どちらかといえばよい	229	16.7
3. どちらでもない	264	19.3
4. どちらかといえばよくない	537	39.2
5. よくない	302	22.0
9. NA	30	
合計	1400	100.0

b. 住民サービス

	実数	(%)
1. よい	66	4.8
2. どちらかといえばよい	614	45.0
3. どちらでもない	587	43.0
4. どちらかといえばよくない	90	6.6
5. よくない	7	0.5
9. NA	36	
合計	1400	100.0

c. 少子高齢化対策の実施状況

	実数	(%)
1. よい	77	5.6
2. どちらかといえばよい	548	40.1
3. どちらでもない	556	40.7
4. どちらかといえばよくない	165	12.1
5. よくない	20	1.5
9. NA	34	
合計	1400	100.0

d. まちづくり・都市計画の実施状況

	実数	(%)
1. よい	45	3.3
2. どちらかといえばよい	428	31.3
3. どちらでもない	671	49.1
4. どちらかといえばよくない	199	14.6
5. よくない	24	1.8
9. NA	33	
合計	1400	100.0

e. 環境政策の実施状況

	実数	(%)
1. よい	82	6.0
2. どちらかといえばよい	524	38.4
3. どちらでもない	641	47.0
4. どちらかといえばよくない	105	7.7
5. よくない	11	0.8
9. NA	37	
合計	1400	100.0

f. 防災の実施

	実数	(%)
1. よい	64	4.7
2. どちらかといえばよい	607	44.5
3. どちらでもない	592	43.4
4. どちらかといえばよくない	99	7.3
5. よくない	2	0.1
9. NA	36	
合計	1400	100.0

g. 職員の業務の効率性

	実数	(%)
1. よい	24	1.8
2. どちらかといえばよい	367	26.9
3. どちらでもない	735	53.8
4. どちらかといえばよくない	218	16.0
5. よくない	21	1.5
9. NA	35	
合計	1400	100.0

h. 職員の専門能力の高さ

	実数	(%)
1. よい	14	1.0
2. どちらかといえばよい	215	15.7
3. どちらでもない	821	60.1
4. どちらかといえばよくない	275	20.1
5. よくない	42	3.1
9. NA	33	
合計	1400	100.0

i. 住民との協働

	実数	(%)
1. よい	70	5.1
2. どちらかといえばよい	503	36.8
3. どちらでもない	546	39.9
4. どちらかといえばよくない	228	16.7
5. よくない	21	1.5
9. NA	32	
合計	1400	100.0

問24 あなたの自治体にとってa～iのそれぞれはどの程度重要な課題ですか。次の1～4の中からあてはまるものをお選びください。

a. 住民との協働

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	753	54.9
2. 重要な課題である	600	43.7
3. あまり重要な課題ではない	18	1.3
4. 重要な課題ではない	1	0.1
9. NA	28	
合計	1400	100.0

b. 地域の特色に合ったまちづくり

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	598	43.6
2. 重要な課題である	726	52.9
3. あまり重要な課題ではない	47	3.4
4. 重要な課題ではない	2	0.1
9. NA	27	
合計	1400	100.0

c. 国や都道府県からの権限の委譲

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	104	7.6
2. 重要な課題である	614	44.9
3. あまり重要な課題ではない	584	42.7
4. 重要な課題ではない	66	4.8
9. NA	32	
合計	1400	100.0

d. 職員の士気の向上

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	474	34.5
2. 重要な課題である	851	61.9
3. あまり重要な課題ではない	47	3.4
4. 重要な課題ではない	2	0.1
9. NA	26	
合計	1400	100.0

e. 政策能力の向上

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	543	39.6
2. 重要な課題である	800	58.3
3. あまり重要な課題ではない	27	2.0
4. 重要な課題ではない	2	0.1
9. NA	28	
合計	1400	100.0

f. 財政運営能力の向上

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	658	47.9
2. 重要な課題である	685	49.9
3. あまり重要な課題ではない	29	2.1
4. 重要な課題ではない	2	0.1
9. NA	26	
合計	1400	100.0

g. 住民ニーズの把握

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	463	33.7
2. 重要な課題である	863	62.9
3. あまり重要な課題ではない	45	3.3
4. 重要な課題ではない	1	0.1
9. NA	28	
合計	1400	100.0

h. 職員の専門能力の向上

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	344	25.1
2. 重要な課題である	938	68.5
3. あまり重要な課題ではない	85	6.2
4. 重要な課題ではない	3	0.2
9. NA	30	
合計	1400	100.0

i. 自治体のイメージアップ

	実数	(%)
1. 非常に重要な課題である	430	31.3
2. 重要な課題である	808	58.8
3. あまり重要な課題ではない	131	9.5
4. 重要な課題ではない	4	0.3
9. NA	27	
合計	1400	100.0